

**(仮称) 千代田中学校区義務教育学校放課後児童クラブの整備について****1 (仮称)千代田中学校区義務教育学校敷地内整備について**

新・放課後子ども総合プラン（平成30年9月14日策定）の目標において、「新たに開設する放課後児童クラブの約80%を小学校内で実施することを目指す。」と示されました。また、全ての児童の安全・安心な居場所づくりの観点から、学校敷地内整備について協議をしてきました。

**2 学校敷地内で放課後児童クラブを実施する理由について**

- (1) 学校敷地内は、多様な体験・活動を行うことができ、児童が校外に移動せずに過ごせる安全な場所である。
- (2) 学校関係者と放課後児童クラブとが、同じ学校に通う児童の健やかな成長のため、放課後児童対策について連携して取り組むことができる。
- (3) 児童の様子の変化や小学校の下校時刻の変更、事件・事故、天災等の緊急時などにも対応でき、学校関係者と放課後児童クラブとの間で、迅速な情報交換・情報共有を行うなど事業が円滑に運営することができる。

**3 千代田中学校区4小学校及び新治児童館で実施する場合の課題について**

- (1) 児童がバスを利用して校外に移動する必要がある。
- (2) 下校時刻が学年によって違うため、バスが出るまでの間、待機場所が必要となる。
- (3) 建物、敷地の維持管理が必要となる。
- (4) 子どもの生活の連続性を保障するため、学校で児童に変化や問題が生じた際に学校連携を行い対応しているが、校外での運営の場合は、連携が困難となる。
- (5) 緊急時(災害、不審者等)の対応
- (6) 霞ヶ浦南小学校、霞ヶ浦北小学校（平成29年4月開校）が学校敷地内または隣接した施設で開所している。

**4 今後の整備計画について**

名 称	(仮称)千代田中学校区義務教育学校放課後児童クラブ 1.2.3
場 所	(仮称)千代田中学校区義務教育学校敷地内
定 員	120名（40人定員、3クラブ）
今後のスケジュール	令和2年度 基本設計業務委託、実施設計業務委託 令和3年度 整備工事 令和4年4月開所予定

## 背景・課題

- 現行プランにおける放課後児童クラブ、放課後子供教室の両事業の実績は、放課後児童クラブの約30万人分整備が順調に進むなど、大きく伸びているが、近年の女性就業率の上昇等により、更なる共働き家庭等の児童数の増加が見込まれており、「小1の壁」を打破するとともに待機児童を解消するため放課後児童クラブの追加的な整備が不可欠な状況。
- 小学校内で両事業を行う「一体型」の実施は、増加傾向にあるものの目標への到達を果たしていない。一方で、地域の実情に応じて社会教育施設や児童館等の小学校以外の施設を活用して両事業を行い、多様な体験・活動を行っている例も見られる。

- そのため、引き続き共働き家庭等の「小1の壁」・「待機児童」を解消するとともに、全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後児童クラブと放課後子供教室の両事業の計画的な整備等を推進するため、下記のとおり目標を設定し、新たなプランを策定。

## 「新・放課後子ども総合プラン」に掲げる目標（2019～2023年）

- **放課後児童クラブ**について、**2021年度末までに約25万人分を整備し、待機児童解消を目指し、その後も女性就業率の上昇を踏まえ2023年度末までに計約30万人分の受け皿を整備**（約122万人⇒約152万人）
- **全ての小学校区**で、両事業を一体的に又は連携して実施し、うち小学校内で**一体型として1万箇所以上で実施することを目指す。**
- 両事業を新たに整備等する場合には、**学校施設を徹底的に活用**することとし、**新たに開設する放課後児童クラブの約80%を小学校内で実施**することを目指す。
- **子どもの主体性を尊重し、子どもの健全な育成を図る放課後児童クラブの役割を徹底し、子どもの自主性、社会性等のより一層の向上を図る。**